

解答速報

日本大学医学部 N方式(I期) 化学

2022年 2月1日実施

【化学(解答)】

I

(1) ④ (2) ⑤ (3) ③ (4) ① (5) ① (6) ⑤

II

(1) ③ (2) ⑤ (3) 9 (6) 10 (2)

III

(1) ④ (2) 12 (4) 13 (3) 14 (2)

IV

(1) ② (2) ⑥ (3) ③ (4) ⑥

(3) 飽和食塩水と異なり、塩化銀飽和水溶液中の銀イオン濃度は極めて小さいので、平衡移動しても目に見えるほどの変化は生じない。ただし、平衡移動して析出量が増えるから、白濁するの①を選ぶことも可能である。

V

(1) ② (2) ③ (3) ⑥ (4) ③

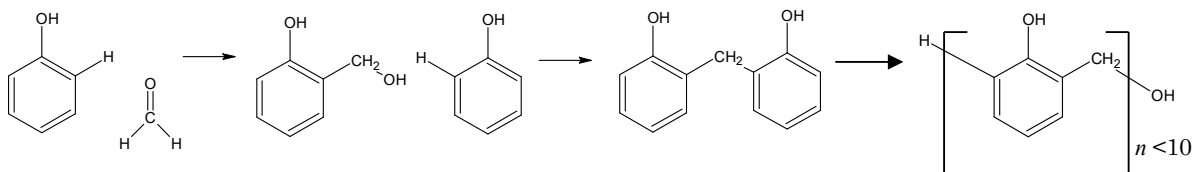
VI

(1) ④ (2) ② (3) ①, ⑥ (4) ② (5) ④

VII

(1) ② (2) ③

- (1) 尿素樹脂とシリコン樹脂
(2) ノボラックは次のように生成する。



1 mol あたりに考えると、 $94+30-18=106$ g 生成する。

0.50 mol ずつ反応させたので、 $47+15-9=53$ g 生成する。

【化学(講評)】

N方式になって、短時間で満点を取ったものも少なくないであろう。数問ミスしても一次は突破するだろうから、二次の英数と面接で合否が決まるのではないかと。一次の点数も合計されるなら、甘く見ても85%は必要であろう。

本解答速報の内容に関するお問合せは

